

観光地域づくり法人形成・確立計画

1. 観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを○ で囲むこと	広域連携DMO ・ 地域連携DMO ・ 地域DMO	
観光地域づくり法人 の名称	一般社団法人麒麟のまち観光局	
マーケティング・マネ ジメント対象とする 区域	区域を構成する地方公共団体名 【鳥取県】鳥取市・岩美町・智頭町・若桜町・八頭町 【兵庫県】新温泉町・香美町	
所在地	鳥取県鳥取市扇町3 東栄ビル3F	
設立時期	平成30年1月15日	
職員数	6人【常勤5人（うち正職員2人・出向等2人）、非常勤1人】	
代表者（トップ人 材：法人の取組につ いて対外的に最終的 に責任を負う者） ※必ず記入すること	（氏名） 理事長 宮崎 正彦 （出身組織名） 株式会社鳥取銀行	（株）鳥取銀行代表取締役頭取を経て、現代表取締役 会長。 一般社団法人中国経済連合会副会長、鳥取県経営 者協会会長などを務める。 金融の幅広いネットワークを活用した民間視点で の観光地経営を行う人材として理事長に就任。
データ収集・分析等 の専門人材（CM O：チーフ・マーケ ティング・オフィサ ー） ※必ず記入すること	（氏名） 事務局次長 石井 康裕【専従】 （出身組織名） 株式会社鳥取銀行	（株）鳥取銀行より出向。 DMOと地域事業者との連携による観光ビジネス の創出・支援を担当。
各部門（マーケティ ング）の責任者 （専門人材）	（氏名） マーケティング・アナリスト 高橋 良平 （出身組織名） 倉敷芸術科学大学	（株）ブレインパッド創設メンバー。元（株）鳥取銀行シ ステム・マーケティング担当。倉敷芸術科学大学 教員として地域政策（地方経済）サービス・マー ケティングを研究。DMOのマーケティングを担当。 非常勤。
財務責任者 （CFO：チーフ・ フィナンシャル・オ フィサー） ※必ず記入すること	（氏名） 事務局次長 石井 康裕【専従】 （出身組織名） 株式会社鳥取銀行	（株）鳥取銀行より出向。 DMOと地域事業者との連携による観光ビジネス の創出・支援を担当。
各部門（販売・プロ モーション）の責任 者 （専門人材）	（氏名） 専務理事（役員） 田村 正弘【専従】 （出身組織名） ANAセールス株式会社	ANAセールス（株）東北支社長、ANA Sales Europe Ltd. 社長など歴任。 国内外の販売戦略、販促、プロモーションに高い 知見とノウハウ、実績を持つ。観光素材の商品 化、販売先及び販売方法、販促・プロモーション までの一連の販売戦略を設計。

(別添) 様式 1

<p>各部門（地域マネジメント）の責任者 （専門人材）</p>	<p>（氏名） 事務局長 石塚 康裕【専従】 （出身組織名） 鳥取・因幡観光ネットワーク協議会</p>	<p>元鳥取・因幡観光ネットワーク協議会事務局長。若桜鉄道観光アドバイザー、関西広域連合アドバイザーなどを務める。 地域の観光事業者、自治体、観光協会、交通事業者、宿泊事業者のみならず住民や農林水産業者、教育機関などを巻き込んだ商品造成やプロデュースに携わる。総合旅行業務取扱管理者。</p>
<p>連携する地方公共団体の担当部署名及び役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 1市6町（役割：受入環境整備・商品造成支援・各種調査・公共交通） <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取市観光・ジオパーク推進課 ・岩美町商工観光課 ・智頭町企画課 ・若桜町産業観光課 ・八頭町産業観光課 ・新温泉町商工観光課 ・香美町観光商工課 ● 県（役割：DMO連携・公共交通） <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県観光戦略課 ・兵庫県但馬県民局地域政策室地域づくり課 	
<p>連携する事業者名及び役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取市観光コンベンション協会（情報発信・商品造成・案内・イベント） ・岩美町観光協会（情報発信・商品造成・案内・イベント） ・智頭町観光協会（情報発信・商品造成・案内・イベント） ・若桜町観光協会（情報発信・商品造成・案内・イベント） ・八頭町観光協会（情報発信・商品造成・案内・イベント） ・新温泉町観光振興協会（情報発信・商品造成・案内・イベント） ・香美町香住観光協会（情報発信・商品造成・案内・イベント） ・香美町村岡観光協会（情報発信・商品造成・案内・イベント） ・香美町小代観光協会（情報発信・商品造成・案内・イベント） ・鳥取商工会議所（事業者支援・ワーケーション推進） ・鳥取市東商工会（事業者支援） ・鳥取市西商工会（事業者支援） ・鳥取市南商工会（事業者支援） ・岩美町商工会（事業者支援） ・智頭町商工会（事業者支援） ・若桜町商工会（事業者支援） ・八頭町商工会（事業者支援） ・新温泉町商工会（事業者支援） ・香美町商工会（事業者支援） ・(株)鳥取銀行（ビジネス創出・コンサルタント） ・(株)但馬銀行（ビジネス創出・コンサルタント） ・若桜鉄道（二次交通・商品造成） ・智頭急行（二次交通・商品造成） ・日ノ丸自動車（二次交通・商品造成） ・日本交通（二次交通・商品造成） ・全但バス（二次交通・商品造成） ・鳥取温泉旅館ホテル組合（宿泊） ・ANA総合研究所（コンサルティング） ・(株)農協観光（農泊商品造成・販売） <p>そのほか、金融・交通・宿泊・飲食・体験・農林水産業・マスメディア・大学・不動産業などが参画。会員総数326社（2021.5月現在）</p>	

(別添) 様式 1

<p>官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</p>	<p>【該当する登録要件】①、② 【概要】 ①行政、観光協会、商工会議所、商工会、金融、交通、宿泊、体験などの代表者で理事会を構成。 ②行政のトップ（首長）を一般社団法人麒麟のまち観光局顧問として委嘱。定期的開催されるトップ会議「麒麟のまち創生戦略会議」でDMOの取り組みや戦略を共有。</p>								
<p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・麒麟のまち観光セミナー：「アフターコロナの観光事情変化・これから実施すべきこと」「観光ホームページの有効活用・デジタルマーケティングの基本」 内容：コロナ禍における対応と、アフターコロナを見据えて準備すべきこと。また、情報発信のあり方、WEBサイトの仕組みや対策、デジタルマーケティングの基本を関係者が学ぶセミナー。 ・麒麟のまち勉強会「麒麟のまち圏域 観光販売戦略と情報発信強化に向けた勉強会」 内容：自治体、観光協会向けの観光販売戦略と情報発信について「連携」を強化するための勉強会。 								
<p>法人のこれまでの活動実績</p>	<p>(活動の概要) 鳥取県東部と兵庫県北西部は生活圏・経済圏・文化圏が一体であり、「観光圏」の一致を図るべく「麒麟のまち」インナーブランディングを設立時に重点的に実施。2020年3月には「連携中枢都市圏」と「麒麟のまち」エリアが一致。令和元年度にDMOが「麒麟のまち」商標登録。</p> <table border="1" data-bbox="459 992 1437 1951"> <thead> <tr> <th data-bbox="459 992 646 1037">事業</th> <th data-bbox="651 992 1437 1037">実施概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="459 1043 646 1328"> 情報発信・プロモーション </td> <td data-bbox="651 1043 1437 1328"> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度 インナーブランディング「麒麟のまち」、羽田-鳥取訪日外国人旅行者誘客 ・令和元年度 公式WEBサイトリニューアル（英語版）、台湾向けPV制作・発信、日本遺産、農泊推進、「SAVOR JAPAN」 ・令和2年度 エリア全体で情報発信のあり方・効果に関する勉強会 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="459 1335 646 1619"> 受入環境の整備 </td> <td data-bbox="651 1335 1437 1619"> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度 砂丘～城崎温泉二次交通実証実験 ・令和元年度 鳥取-豊岡高速バス社会実験、インバウンド対応セミナー、多言語対応通訳機販売、キャッシュレスセミナー、日本遺産案内看板等設置、農泊事業者向けセミナー ・令和2年度 アフターコロナセミナー、二次交通案内状況調査 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="459 1626 646 1951"> 観光資源の磨き上げ </td> <td data-bbox="651 1626 1437 1951"> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度 観光列車・貸切クルーズブラッシュアップ、最先端観光コンテンツインキュベーター事業、コンテンツプロデューサー設置 ・令和元年度事業 日本遺産コンテンツ造成、農泊コンテンツ造成、食のブラッシュアップ、先端技術活用コンテンツ造成 ・令和2年度 山林アクティビティ造成（人材育成含む）、販売環境整備 </td> </tr> </tbody> </table>	事業	実施概要	情報発信・プロモーション	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度 インナーブランディング「麒麟のまち」、羽田-鳥取訪日外国人旅行者誘客 ・令和元年度 公式WEBサイトリニューアル（英語版）、台湾向けPV制作・発信、日本遺産、農泊推進、「SAVOR JAPAN」 ・令和2年度 エリア全体で情報発信のあり方・効果に関する勉強会 	受入環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度 砂丘～城崎温泉二次交通実証実験 ・令和元年度 鳥取-豊岡高速バス社会実験、インバウンド対応セミナー、多言語対応通訳機販売、キャッシュレスセミナー、日本遺産案内看板等設置、農泊事業者向けセミナー ・令和2年度 アフターコロナセミナー、二次交通案内状況調査 	観光資源の磨き上げ	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度 観光列車・貸切クルーズブラッシュアップ、最先端観光コンテンツインキュベーター事業、コンテンツプロデューサー設置 ・令和元年度事業 日本遺産コンテンツ造成、農泊コンテンツ造成、食のブラッシュアップ、先端技術活用コンテンツ造成 ・令和2年度 山林アクティビティ造成（人材育成含む）、販売環境整備
事業	実施概要								
情報発信・プロモーション	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度 インナーブランディング「麒麟のまち」、羽田-鳥取訪日外国人旅行者誘客 ・令和元年度 公式WEBサイトリニューアル（英語版）、台湾向けPV制作・発信、日本遺産、農泊推進、「SAVOR JAPAN」 ・令和2年度 エリア全体で情報発信のあり方・効果に関する勉強会 								
受入環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度 砂丘～城崎温泉二次交通実証実験 ・令和元年度 鳥取-豊岡高速バス社会実験、インバウンド対応セミナー、多言語対応通訳機販売、キャッシュレスセミナー、日本遺産案内看板等設置、農泊事業者向けセミナー ・令和2年度 アフターコロナセミナー、二次交通案内状況調査 								
観光資源の磨き上げ	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度 観光列車・貸切クルーズブラッシュアップ、最先端観光コンテンツインキュベーター事業、コンテンツプロデューサー設置 ・令和元年度事業 日本遺産コンテンツ造成、農泊コンテンツ造成、食のブラッシュアップ、先端技術活用コンテンツ造成 ・令和2年度 山林アクティビティ造成（人材育成含む）、販売環境整備 								

(別添) 様式 1

	<p>(定量的な評価) 地域連携DMOマネジメントエリアの観光関連連携分野数 (1市6町連携)</p> <table border="1" data-bbox="459 293 1445 775"> <tr> <th colspan="2">「麒麟のまち」連携事業</th> </tr> <tr> <td>設立時 (H30年) 1分野</td> <td>DMO</td> </tr> <tr> <td>令和元年度 6分野</td> <td>DMO、連携中枢都市圏、日本遺産推進、農泊推進、エリアブランディング (官民)、マーケティング</td> </tr> <tr> <td>令和2年度 7分野</td> <td>DMO、連携中枢都市圏、日本遺産推進活用、農泊推進、エリアブランディング (官民)、マーケティング、ツアーデスク (延期)、販売一元化</td> </tr> <tr> <td>令和3年度 10分野</td> <td>DMO、連携中枢都市圏、日本遺産推進活用、農泊推進活用、エリアブランディング (官民)、エリアマーケティング、販売一元化、情報発信、ワーケーション推進、観光販売戦略</td> </tr> </table>	「麒麟のまち」連携事業		設立時 (H30年) 1分野	DMO	令和元年度 6分野	DMO、連携中枢都市圏、日本遺産推進、農泊推進、エリアブランディング (官民)、マーケティング	令和2年度 7分野	DMO、連携中枢都市圏、日本遺産推進活用、農泊推進、エリアブランディング (官民)、マーケティング、ツアーデスク (延期)、販売一元化	令和3年度 10分野	DMO、連携中枢都市圏、日本遺産推進活用、農泊推進活用、エリアブランディング (官民)、エリアマーケティング、販売一元化、情報発信、ワーケーション推進、観光販売戦略														
「麒麟のまち」連携事業																									
設立時 (H30年) 1分野	DMO																								
令和元年度 6分野	DMO、連携中枢都市圏、日本遺産推進、農泊推進、エリアブランディング (官民)、マーケティング																								
令和2年度 7分野	DMO、連携中枢都市圏、日本遺産推進活用、農泊推進、エリアブランディング (官民)、マーケティング、ツアーデスク (延期)、販売一元化																								
令和3年度 10分野	DMO、連携中枢都市圏、日本遺産推進活用、農泊推進活用、エリアブランディング (官民)、エリアマーケティング、販売一元化、情報発信、ワーケーション推進、観光販売戦略																								
<p>実施体制 ※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること (別添可)。</p>	<p>(実施体制の概要) 収益事業と自治体と連携した公益事業を実施する一般社団法人。行政、観光協会、商工会議所、商工会、金融、交通、宿泊、体験などの代表者で理事会を構成。理事長には経営感覚に優れた地方銀行トップが就任。監事には金融と行政が就任。定期的に理事会を開催。行政のトップ (首長) を一般社団法人麒麟のまち観光局顧問として委嘱。エリア内の企業等も「正会員」と「DMOサポーター (賛助会員)」として連携。(会員数326社) DMOサポーターは戦略の共有のほか、「麒麟のまち」エリアの一体感を醸成する活動を実施する。</p> <p>なお、コロナ禍でエリア全体としてより一層の連携を図るため、R3年度から理事会にエリア内すべての市町の副市長・副町長、観光協会長が参画することとなった。</p> <p>(実施体制図)</p> <table border="1" data-bbox="459 1666 775 1832"> <tr> <td>顧問 (7名)</td> <td>顧問</td> <td>深澤 義彦 (鳥取市長)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>顧問</td> <td>西垣 英彦 (岩美町長)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>顧問</td> <td>金見 英夫 (智頭町長)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>顧問</td> <td>矢部 康樹 (若桜町長)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>顧問</td> <td>吉田 英人 (八頭町長)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>顧問</td> <td>西村 銀三 (新温泉町長)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>顧問</td> <td>浜上 勇人 (香美町長)</td> </tr> <tr> <td>参与 (1名)</td> <td>参与</td> <td>稲岡 研士 (ANA総研)</td> </tr> </table>	顧問 (7名)	顧問	深澤 義彦 (鳥取市長)		顧問	西垣 英彦 (岩美町長)		顧問	金見 英夫 (智頭町長)		顧問	矢部 康樹 (若桜町長)		顧問	吉田 英人 (八頭町長)		顧問	西村 銀三 (新温泉町長)		顧問	浜上 勇人 (香美町長)	参与 (1名)	参与	稲岡 研士 (ANA総研)
顧問 (7名)	顧問	深澤 義彦 (鳥取市長)																							
	顧問	西垣 英彦 (岩美町長)																							
	顧問	金見 英夫 (智頭町長)																							
	顧問	矢部 康樹 (若桜町長)																							
	顧問	吉田 英人 (八頭町長)																							
	顧問	西村 銀三 (新温泉町長)																							
	顧問	浜上 勇人 (香美町長)																							
参与 (1名)	参与	稲岡 研士 (ANA総研)																							

2. 観光地域づくり法人がマーケティング・マネジメントする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】

〈鳥取県〉 鳥取市・岩美町・智頭町・若桜町・八頭町

〈兵庫県〉 新温泉町・香美町

麒麟のまちエリア図



【区域設定の考え方】

因幡地域（鳥取県鳥取市・岩美町・若桜町・智頭町・八頭町）と但馬地域（兵庫県新温泉町・香美町）は、古くから歴史や文化、経済、生活圏を共有し、山陰海岸ジオパークと中国山地に囲まれるなど、豊かな自然と山海の幸に恵まれた地域である。

「麒麟獅子舞（きりんじしまい）」はこの地域に伝播している重要な民俗文化財であり、霊獣・麒麟が息づくこの地域を「麒麟のまち」と呼び、魅力あるまちづくりに取り組んでいる。

生活圏・経済圏・文化圏に「観光圏」を一致させるために区域を設定。

また、鳥取市を中心とした連携中枢都市圏の取り組みを行っている区域でもある。



麒麟獅子舞

国指定重要無形民俗文化財

(別添) 様式 1

【観光客の実態等】

平成27年の圏域全体の観光客数は約6,300千人で、平成20年度の鳥取自動車道開通に伴う関西圏・山陽圏からのアクセス向上により、バス利用者、自家用車利用者とも増加していたが、近年団体バスが減少傾向にある。令和元年度の圏域全体の観光客数は約6,800千人である。

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

鳥取砂丘、いなば温泉郷の5温泉地、山陰海岸ジオパークエリア、海水浴場、キャンプ場、棚田、宿場町や城下町のまちなみ、城跡、神話伝承の地、スキー・登山・マリンスポーツの拠点、海産物やジビエ、農産物など、圏域特有の自然環境や伝統文化、特産品を活かした多くの観光資源を保有している。

「麒麟のまち観光局」の名称にも使用する「麒麟獅子舞」はこのエリアを象徴する伝統文化であり、令和元年度に国の重要無形民俗文化財に指定。

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

圏域内の宿泊施設数は約360施設、収容人数は約10,000人で、主に鳥取市中心部、温泉地、スキー場、海水浴場周辺に集中している。

※参考

鳥取市	75施設	約5,500人
岩美町	28施設	約1,150人
八頭町	8施設	約300人
若桜町	5施設	約440人
智頭町	3施設	約25人（その他、民泊が40軒で60人）
新温泉町	50施設	約700人
香美町	200施設	約2,000人
合計	約360施設	約10,000人

【利便性：区域までの交通、域内交通】

航空便	鳥取空港から羽田空港へ定期便が1日5往復（75分）
鉄道	京阪神方面に特急列車が1日8往復（大阪～鳥取160分） 山陽方面に特急列車が1日6往復（岡山～鳥取110分） 米子・松江方面に特急列車が1日7往復（松江～鳥取90分）
車	鳥取自動車道が中国自動車道に連結 山陰自動車道・鳥取豊岡宮津自動車道が整備中
高速バス	東京行き高速バスが1日2往復 神戸大阪行き高速バスが1日21往復 京都行き高速バスが1日4往復 広島行き高速バスが1日2往復 福岡行き高速バスが1日1往復

【外国人観光客への対応】

鳥取市がJR鳥取駅構内に「鳥取市国際観光客サポートセンター」を設置、英語・中国語・韓国語での案内業務を実施している。（カテゴリー2）

外国人観光客向けの二次交通対策として、鳥取ハイヤー協同組合が周遊タクシーを運行。

大阪（なんば）～鳥取間の訪日外国人向けバスの運行も実施（2020.3終了）。

また、ANA総合研究所と連携したインバウンド向けメニュー開発やツアーを実施している。

なお、令和2年度中に鳥取駅周辺にツアーデスク開設を計画していたが、コロナ禍の影響により延期となった。

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
鳥取市観光コンベンション協会ホームページのアクセス状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連携中枢都市の中心である鳥取市の観光サイトをリニューアルし、圏域6町の情報も発信することで、アクセス向上等の効果を測るため ・ 効率的な情報発信により、圏域周遊促進し、圏域観光消費拡大に繋げる 	2021年11月にホームページリニューアル実施予定(当社受託事業) Web解析により収集
アンケートデータ (観光消費単価、属性、同行者、満足度、リピーター率、動態・交通手段、旅行目的、泊数、情報源、期待・評価)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 従来から把握できていなかった市町単位や、県境を跨いだ圏域全体での左記数値把握のため ・ 継続的に圏域データ取得・分析を行い、圏域観光戦略のPDCAサイクル確立 ・ 圏域周遊促進のための仕組みづくり 	2021年度より圏域統一Webアンケート調査を自主事業として開始
主要観光施設入込客数 (鳥取市、岩美町、智頭町、若桜町、八頭町、新温泉町、香美町)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 従来から把握できていなかった市町単位や、県境を跨いだ圏域全体での観光入込客数の把握のため ・ 圏域入込客数を麒麟のまち観光局にて推計 ・ 上記アンケートデータと合わせ、県境を跨いだ圏域全体の観光消費額を算出 ・ 継続的に実施し、観光消費額の拡大に向けた観光販売戦略の進捗管理を実施 	各市町の主要観光施設への入込客数実績により収集

4. 戦略

(1) 地域における観光を取り巻く背景

麒麟のまち観光局マネジメントエリア人口は、1990年ピーク時が29.4万人であったが、2015年には26.5万人、将来推計によれば2040年には20.3万人まで減少する。
こうした地域課題に対し、「麒麟のまち」圏域が将来にわたって持続可能な社会となるよう、「地域に根差し、地域が稼ぐ仕組みづくり」をテーマとして、観光振興による地域経済の活性化、地方創生の実現を目的にDMOを設立。事業を通じて地域資源の価値を引き出し、圏域が一体となったブランディングを展開するとともに、「麒麟のまち」に訪れたことがない方へ積極的に情報を届け、来訪者には「ぜひ、また麒麟のまちを訪れたい」という感動を提供できるよう取り組む。

- ① 圏域の観光消費額を高める取組
- ② 圏域の多様な関係者がより強く連携できる取組
- ③ 販売(インバウンドを見据え)を意識し、「資源から商品へ」「継続した販売」「売り先」「売り方」といった一連の流れをDMOがマネジメントする取組

なお、コロナ禍の背景を踏まえ、「麒麟のまち観光販売戦略」を令和2年度に策定した。

鳥取市版：①「鳥取砂丘」を最大限活用した観光消費拡大

- ② 隣接エリアに負けない鳥取市の観光コンテンツの発掘
- ③ 鳥取東部として集客し、鳥取市で「夕食」「宿泊」を獲得
- ④ 発掘した魅力の情報発信(旅マエ・旅ナカ)・インターネット媒体の強化(観光WEBサイトリニューアル)

6町版：①「鳥取砂丘」を最大限活用した観光消費拡大(鳥取砂丘からのモデルルート作成等)

- ② 連携した圏域の魅力拡大(圏域全体で取り組む特集コンテンツ+各町の個別の魅力に訴求するコンテンツ)
- ③ グルメ戦略による観光消費拡大
- ④ 魅力の情報発信(旅マエ・旅ナカ)

(別添) 様式 1

(2) 地域の強みと弱み


	好影響	悪影響
内部環境	強み (Strengths) <ul style="list-style-type: none"> ・ 圏域の歴史や文化に根差した観光資源が豊富 ・ 鳥取砂丘の知名度 ・ 山陰海岸ジオパーク ・ 空港・港湾・高速道路等のアクセス環境 ・ 海と山が近い 	弱み (Weaknesses) <ul style="list-style-type: none"> ・ 鳥取砂丘以外の認知度の低さ ・ プレイヤー不足 ・ 観光地間を接続する二次交通の不足 ・ 素材の商品化が進んでいない
外部環境	機会 (Opportunity) <ul style="list-style-type: none"> ・ 首都圏からのアクセス (空港) ・ 自動車道の整備によるアクセス向上 ・ 関西圏からのアクセス 	脅威 (Threat) <ul style="list-style-type: none"> ・ 旅行市場の縮小 ・ アクセスにかかる移動コスト ・ コロナ禍

※上記に加え、PEST分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入 (様式自由)。

(3) ターゲット

<p>○第1ターゲット層 情報リテラシーの高い層 (国内旅行者)</p>
<p>○選定の理由 情報リテラシーが高く、将来性が期待されるため。</p>
<p>○取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ OTA販売を意識した個人旅行 (FIT) 旅客 (主として関西・首都圏) ・ 目的・趣味に沿ったコンテンツ (アクティビティ等) の充実、コンテンツに応じたセグメントの細分化 ・ 首都圏企業をターゲットとしたワーケーションプログラム ・ 情報の発信・収集の両面で有効性が高く、プロモーションなどでも選択と集中による展開がしやすいモバイル・WEBの最大限活用 ・ 砂丘、海、山、溪流など豊かな自然を活用した体験レジャー・スポーツアクティビティの展開 ・ 圏域が誇る食材の活用による食事メニューの開発 ・ VR・ARなどを使ったゲーム感覚の体験プログラムの観光活用の研究推進
<p>○第2ターゲット層 訪日外国人 (香港・台湾・欧米豪)</p>
<p>○選定の理由 観光庁調査結果を踏まえ、セグメント「食」「自然を楽しみたい」希望上位国の個人旅行者を主要ターゲットに設定。 麒麟のまち観光局マネジメントエリアは地方部かつ自然を売りにしているため。</p>
<p>○取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 麒麟のまち圏域の強みである「食文化」「自然体験」希望上位国をターゲットに設定 ・ 主として関西圏に滞在する訪日リピーターの日帰り、ショートトリップ ・ 東京を主に起点としつつも、圏域内のみならず、山陰・瀬戸内海圏域の周遊を志向する訪日リピーター、航空会社・山陰インバウンド機構との連携に軸に置き、マーケティングからコンテンツ開発、プロモーションと一体となる取組による誘客

(4) 観光地域づくりのコンセプト

<p>①コンセプト</p>	<p>アイデアが降り立つまち「麒麟のまち」</p> <div data-bbox="938 315 1334 405" style="text-align: center;"></div> <p>「つなぐ・つくる・つづく、アイデアが降り立つまち 麒麟のまち」のキャッチコピーのもと、DMO設立時からインナーブランディングを充実。県境をまたぐDMOとして、生活圈・経済圏・文化圏と観光圏の一致を目的とし、観光を起点に、多様な事業主体者・関係者との連携により事業を推進する。</p>
<p>②コンセプトの考え方</p>	<ol style="list-style-type: none">① 地域のやる気を形にする現場を大切にし、協業の場を創出し、成功を積み上げていく主導的な役割を果たす。② 観光産業のみならず・地域社会(住民)と農業・林業・飲食業・文化財・国立公園など、幅広い領域とのかかわりを深め、信頼を得るための成果を積み上げていく。③ マーケットニーズ・トレンドに柔軟かつ迅速にDMOが対応し、求められるコンテンツ等を造成する。④ 地域連携DMOの大きな役割である、鳥取県・兵庫県の行政の橋渡しの役割を担い、地域に対する情報発信を行う。⑤ 指向性の高く、目的のある旅(コンテンツ)にこだわり、育て磨き上げ、また訪れたいふるさとのような街を目指す。⑥ コンセプトである「つなぐ・つくる・つづく」を実現するため、麒麟のまち観光局の得意分野である上品造成・マーケティング・地域マネジメントに加え、「売り方・売り先・販促・プロモーション」まで一元的に実施できる体制・仕組みづくりを広域DMO、JNTOと連携して実現を図る。

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	DMOが中心となり、行政や観光協会、経済団体が個別に取り組んできた観光事業や施策のベクトルを同一方向に向け、観光消費を高める目的でR2年度に自治体・観光協会とともに「観光販売戦略」を策定。四半期に一度開催する理事会にて戦略・方向性を確認するとともに、進捗管理を行う。 また、宿泊、飲食、交通事業者、地域まちづくり団体など多様な関係者が参画するセミナー・勉強会を開催し、戦略共有の場を設ける。
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	鳥取市・鳥取市商工会議所・鳥取市観光コンベンション協会が実施する「鳥取市観光大学」観光マイスター認定制度を実施しており、観光事業従事者を中心に500人以上が認定されている。研修エリアを「麒麟のまち」エリアに拡大（令和元年度より）。
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション	エリアイメージ定着のための「麒麟のまち」共通ロゴや共通コピーを使用し、DMOにかかわる団体・事業者が広報する際に掲載するなど、定着とエリアの一体感を醸成している。 また、「麒麟のまち圏域 観光販売戦略と情報発信強化に向けた勉強会」を開催。

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

6. KPI（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後3年間における明確な数値目標を記入すること。

※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去3年間の実績も記入すること。

(1) 必須KPI

指標項目		2018	2019	2020	2021	2022	2023
		(H30) 年度	(R1) 年度	(R2) 年度	(R3) 年度	(R4) 年度	(R5) 年度
●旅行消費額 (円)	目標	30,000 (-)	31,500 (35,000)	33,000 (30,000)	33,300 (31,500)	33,600 (33,000)	34,000 (34,500)
	実績	28,516 (23,407)	28,925 (29,983)	()	()	()	()
●延べ宿泊者数 (人)	目標	265,800 (21,000)	271,000 (24,000)	159,000 (3,000)	280,000 (5,200)	310,000 (19,000)	320,000 (25,000)
	実績	352,334 (24,892)	379,426 (29,096)	293,964 (6,041)	()	()	()
●来訪者満足度 (%)	目標	70.0 (-)	75.0 (-)	75.0 ()	77.0 ()	78.0 ()	80.0 ()
	実績	72.8 (-)	72.2 (-)	()	()	()	()
●リピーター率 (%)	目標	75.0 (-)	80.0 (-)	80.0 ()	82.0 ()	83.0 ()	85.0 ()
	実績	77.0 (-)	78.2 (-)	()	()	()	()

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

マーケティング・アナリストが主体となり、DMO・自治体・旅行者・金融機関などの協議検討のうえ数値目標を設定。当初は、2020年をピークとして右肩上がり。その間に「地域が稼ぐ仕組み」を構築し、2021年以降、選ばれる観光地になるために検討してきた。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、2020年4月に下方修正した。

【設定にあたっての考え方】

- 旅行消費額
鳥取県観光客入込動態調査結果より。密を避けるべく量（来訪者数）から質（旅行消費単価）への転換を図り、消費額増加のためのターゲティングを実施。
- 延べ宿泊者数
宿泊旅行統計調査（鳥取市）より。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年度目標を下方修正。宿泊者数の増加は圏域周遊の結果と捉え、圏域周遊を促すための情報発信を実施。
- 来訪者満足度
日本交通公社旅行年報より、「大変満足」と「満足」の合計。個別のツアーや施設、イベント等のデータは多く存在するが、調査内容が統一されていないため、精度の高い継続したデータ収集の仕組みをDMOで検討。⇒2021年4月より圏域統一アンケートを開始。
- リピーター率
鳥取県観光客入込動態調査結果より。2021年4月以降は、圏域統一アンケートデータにより、従来から把握できていなかった市町単位や、県境を跨いだ圏域全体での数値把握を行う。

(2) その他の目標

指標項目		2018	2019	2020	2021	2022	2023
		(H30) 年度	(R1) 年度	(R2) 年度	(R3) 年度	(R4) 年度	(R5) 年度
●圏域内観光 GDP (百万円)	目 標	-	-	27,158	25,800	29,670	34,121
		()	()	()	()	()	()
	実 績	36,211	38,022				
		()	()	()	()	()	()

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

※各指標項目の単位を記入すること。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

従前は「訪日外国人宿泊者数」「訪日外国人入館者数」「鳥取駅観光案内所訪日外国人利用者数」「オフィシャルサイト訪問者数」を指標としていたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、令和2年度に戦略をゼロベースで見直し実施。

- ① 地域特性を活かした、エッジの効いた目的特化型旅行商品を取り揃え、確実に旅行者に販売
- ② 量（来訪者数）から質（旅行消費単価）への転換
- ③ 観光を基軸として地域の生活の質の向上を図り、地域住民が誇りに思える観光地域づくり

上記の方針を定め、具体的な観光販売戦略（鳥取市版、圏域版）を策定。圏域内観光消費の拡大に向け、戦略に沿った指標を目標に設定。

【設定にあたっての考え方】

- 圏域内観光GDP
鳥取県市町村経済計算等を基に麒麟のまち観光局推計。追跡調査をすることにより、観光販売戦略が圏域内にもたらす効果を検証。
なお、令和3年度から圏域内での統一アンケートを開始。市町単位や、圏域全体での観光消費単価・満足度・リピーター率等のデータを取得していく。
同時に各市町の主要観光施設への入込数実績も、行政との連携によりデータ収集し、麒麟のまち観光局にて圏域全体の入込客数を推計。上記アンケートで得られた観光消費単価と合わせて、より精度の高い圏域の観光消費額を算出するとともに、圏域内観光GDPとの比較検証を実施していく。

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後3年間について、計画年度毎に(1)収入、(2)支出を記入すること。
 ※現に活動している法人にあっては、過去3年間の実績も記入すること。

(1) 収入

年(年度)	総収入(円)	内訳
2018(H30) 年度	69,777,960 (円)	【収益事業】19,350千円 【委託事業】17,000千円 【補助金・助成金】0千円 【特定財源】31,744千円 【会費・寄付金】1,550千円 【その他】134千円
2019(R1) 年度	79,421,495 (円)	【収益事業】17,776千円 【委託事業】18,130千円 【補助金・助成金】10,004千円 【特定財源】31,744千円 【会費・寄付金】1,700千円 【その他】68千円
2020(R2) 年度	88,690,061 (円)	【収益事業】19,044千円 【委託事業】13,236千円 【補助金・助成金】16,562千円 【特定財源】31,744千円 【会費・寄付金】4,980千円 【その他】3,125千円
2021(R3) 年度	109,979,000 (円)	【収益事業】19,234千円 【委託事業】22,108千円 【補助金・助成金】34,993千円 【特定財源】31,744千円 【会費・寄付金】1,800千円 【その他】100千円
2022(R4) 年度	99,071,000 (円)	【収益事業】19,427千円 【委託事業】11,000千円 【補助金・助成金】35,000千円 【特定財源】31,744千円 【会費・寄付金】1,800千円 【その他】100千円
2023(R5) 年度	101,265,000 (円)	【収益事業】19,621千円 【委託事業】12,000千円 【補助金・助成金】36,000千円 【特定財源】31,744千円 【会費・寄付金】1,800千円 【その他】100千円

(別添) 様式 1

(2) 支出

年(年度)	総支出	内訳
2018 (H30) 年度	70,394,735 (円)	【事業費】 33,687千円 【一般管理費】 36,708千円
2019 (R1) 年度	77,624,371 (円)	【事業費】 41,871千円 【一般管理費】 35,753千円
2020 (R2) 年度	82,074,172 (円)	【事業費】 44,429千円 【一般管理費】 37,645千円
2021 (R3) 年度	108,061,000 (円)	【事業費】 67,674千円 【一般管理費】 40,387千円
2022 (R4) 年度	98,350,000 (円)	【事業費】 57,817千円 【一般管理費】 40,533千円
2023 (R5) 年度	99,760,000 (円)	【事業費】 59,079千円 【一般管理費】 40,681千円

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

(収入源)

DMO構成団体(行政を含む)からの負担金、会費、観光事業者からの広告・協賛収入、WEBでの商品販売手数料収入、旅行業、商品企画料、観光コンサルタント業務など。

(課題・取組方針)

現状では、行政等からの運営委託金のみでは運営費(人件費・管理費)を賄えておらず、収益事業の収益により運営費不足分を補っている状態。

今後、行政・DMO・観光協会等がそれぞれ担うべき事業分野についての整理を進めつつ、運営委託金額の是正を協議していき、収益性の向上およびそれに伴い公共事業への再投資を拡大できる体制を目指す。

8. 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

鳥取市、岩美町、智頭町、若桜町、八頭町、新温泉町、香美町の1市6町は、一般社団法人麒麟のまち観光局を当該市町における地域連携DMOとして認めます。

鳥取県は、一般社団法人麒麟のまち観光局を鳥取県東部地区における地域連携DMOとして、協同して観光行政に取り組みます。

兵庫県は、一般社団法人麒麟のまち観光局を当該県における地域連携DMOとして認めます。

9. マーケティング・マネジメント対象区域が他の地域連携DMOや地域DMOと重複する場合の役割分担について (※重複しない場合は記載不要)

【他の地域連携DMOや地域DMOとの間で、重複区域に関する連携や役割分担等について協議を行った(行っている)か】

- ・重複する地域連携DMO(ひょうご観光本部)及び隣接する地域連携DMO(豊岡イノベーション、海の京都DMO)とは、四半期ごとに意見交換会を行い、プロモーションや広域周遊促進を中心とした連携について意見交換を行っている。

【区域が重複する背景】

- ・麒麟のまち観光局のマネジメントエリアは、鳥取県と兵庫県にまたがっており、兵庫県内の地域連携DMO(ひょうご観光本部)の区域と重複・隣接しているため。
- ・鳥取県、兵庫県、京都府にまたがる山陰海岸エリアは、「山陰海岸ジオパーク」として一体的な取り組みを実施しているため。

【重複区域における、それぞれのDMOの役割分担について】

- ・プロモーションや広域周遊促進については、ひょうご観光本部と連携する。
- ・コンテンツ造成、受入環境整備等については、麒麟のまち観光局はマネジメントエリアを、その他のエリアについてはひょうご観光本部及び豊岡イノベーションが各市町とともに取り組む。

【前述の役割分担等によって、効率的、効果的な活動の遂行が期待できるか】

- ・プロモーションや広域周遊促進は連携することにより、費用対効果の高い取組や観光消費を高める取組が期待できる。

10. 記入担当者連絡先

担当者氏名	石塚 康裕
担当部署名(役職)	一般社団法人麒麟のまち観光局 事務局長
郵便番号	680-0846
所在地	鳥取県鳥取市扇町3 東栄ビル3F
電話番号(直通)	0857-50-1785
FAX番号	0857-50-1786
E-mail	ishizuka@tottori-inaba.jp

11. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	鳥取市
担当者氏名	平井 宏和
担当部署名(役職)	経済観光部観光・ジオパーク推進課 課長
郵便番号	680-8571
所在地	鳥取県鳥取市幸町71
電話番号(直通)	0857-30-8290
FAX番号	0857-20-3947
E-mail	kankou@city.tottori.lg.jp

都道府県・市町村名	岩美町
担当者氏名	澤 敬美
担当部署名(役職)	商工観光課 課長
郵便番号	681-8501
所在地	鳥取県岩美郡岩美町浦富675-1
電話番号(直通)	0857-73-1416
FAX番号	0857-73-1590

(別添) 様式 1

E-mail	kankou1@iwami.gr.jp
--------	---------------------

都道府県・市町村名	智頭町
担当者氏名	酒本 和昌
担当部署名(役職)	企画課 課長
郵便番号	689-1402
所在地	鳥取県八頭郡智頭町大字智頭2072-1
電話番号(直通)	0858-75-4112
FAX番号	0858-75-1193
E-mail	kikaku@town.chizu.tottori.jp

都道府県・市町村名	若桜町
担当者氏名	川戸 康之
担当部署名(役職)	にぎわい創出課 課長
郵便番号	680-0792
所在地	鳥取県八頭郡若桜町大字若桜801-5
電話番号(直通)	0858-82-2238
FAX番号	0858-82-0134
E-mail	nigiwai@town.wakasa.tottori.jp

都道府県・市町村名	八頭町
担当者氏名	見生 正志
担当部署名(役職)	産業観光課商工観光室 室長
郵便番号	680-0493
所在地	鳥取県八頭郡八頭町郡家493
電話番号(直通)	0858-76-0208
FAX番号	0858-76-0217
E-mail	syokou-kankou@town.yazu.tottori.jp

都道府県・市町村名	新温泉町
担当者氏名	水田 賢治
担当部署名(役職)	商工観光課 課長
郵便番号	669-6792
所在地	兵庫県美方郡新温泉町浜坂2673-1
電話番号(直通)	0796-82-5625
FAX番号	0796-82-3054
E-mail	syokokanko@town.shinonsen.lg.jp

都道府県・市町村名	香美町
担当者氏名	田中 徳人
担当部署名(役職)	観光商工課 課長
郵便番号	669-6592
所在地	兵庫県美方郡香美町香住区香住870-1
電話番号(直通)	0796-36-3355
FAX番号	0796-36-3809
E-mail	kankoushoukou@town.mikata-kami.lg.jp

(別添) 様式 1

都道府県・市町村名	鳥取県
担当者氏名	森田 清澄
担当部署名 (役職)	地域づくり推進部東部地域振興事務所東部振興課 課長
郵便番号	680-0061
所在地	鳥取県鳥取市立川町6丁目176
電話番号 (直通)	0857-20-3500
F A X 番号	0857-20-3656
E - m a i l	toubu-shinkou@pref.tottori.jp

都道府県・市町村名	兵庫県
担当者氏名	岸本 孝志
担当部署名 (役職)	但馬県民局地域政策室地域づくり課 班長
郵便番号	668-0025
所在地	兵庫県豊岡市幸町7-11
電話番号 (直通)	0796-23-1001
F A X 番号	0796-23-1476
E - m a i l	Takashi_Kishimoto@pref.hyogo.lg.jp

法人名：一般社団法人麒麟のまち観光局

登録区分名：地域連携DMO

【区域】<鳥取県>鳥取市、岩美町、智頭町、若桜町、八頭町、
<兵庫県>新温泉町、香美町

【設立日】平成30年1月15日

【登録日】平成30年3月30日（令和3年3月31日更新登録）

【代表者】理事長 宮崎 正彦

【マーケティング責任者(CMO)】事務局次長 石井 康裕

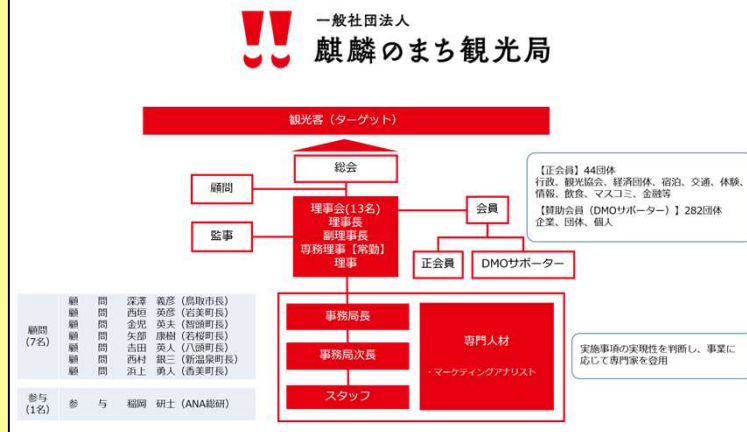
【財務責任者(CFO)】事務局次長 石井 康裕

【職員数】常勤5人(うち出向2人)

【連携する主な事業者】(会員326社)
観光協会(1市6町)、経済団体(鳥取県商工会議所、鳥取県東部7商工会)、
金融機関(鳥取銀行、但馬銀行)、
宿泊(鳥取温泉旅館ホテル組合、JTB協定旅館ホテル連盟)、
交通(若桜鉄道、智頭急行、日本交通、日ノ丸自動車、全但バス)、
報道(新日本海新聞社、日本海ケーブルネットワーク)、旅行業(農協観光)、
観光施設(鳥取砂丘砂の美術館、鳥取砂丘ビジターセンター)、飲食(ひよこカンパニー)、
コンサルティング(ANA総合研究所)、広告(VZONE)、商工業(山陰酸素グループ) ほか

アイディアが降り立つまち『麒麟のまち』

実施体制



マーケティング・マネジメントする区域

【主な観光資源】
鳥取砂丘
山陰海岸ジオパーク
砂丘アクティビティ
マリンスポーツ
海水浴場(浜坂ほか)
スキー場(ハチ北ほか)
温泉(湯村温泉ほか)
神話(因幡の白兔)
食(但馬牛、松葉ガニほか)
日本遺産(麒麟獅子、北前船ほか)



合意形成の仕組み

【該当する登録要件】①・②

【概要】
①行政、観光協会、商工会議所、商工会、金融、交通、宿泊、体験などの代表者で理事会を構成。
②行政の首長を一般社団法人麒麟のまち観光局顧問として委嘱。定期的に開催されるトップ会議「麒麟のまち創生戦略会議」でDMOの取り組みや戦略を協議。

法人のこれまでの活動実績

【情報発信・プロモーション】
インナーブランディング「麒麟のまち」、エリア情報発信効率化検討、羽田-鳥取訪日外国人旅行者誘客、台湾向けPV制作・発信、日本遺産プロモーション、農泊プロモーション、「SAVOR JAPAN」プロモーション

【観光資源の磨き上げ】
R2年度広域周遊促進事業「山林アクティビティ造成事業」、観光列車貸切コンテンツ造成、先端技術活用コンテンツ造成、日本遺産関連コンテンツ造成、農泊コンテンツ造成、食のブラッシュアップなど

【受入環境の整備】
多言語対応通訳機販売、インバウンド対応セミナー、キャッシュレスセミナー、砂丘～城崎温泉二次交通実証実験、鳥取-豊岡高速バス社会実験、日本遺産案内看板等設置、農泊事業者向けセミナー、二次交通案内調査、アフターコロナセミナー

戦略

【主なターゲット】
・情報リテラシーの高い層(国内旅行者)
・訪日外国人(香港・台湾・欧米豪)

【ターゲットの誘客に向けた取組方針】
・OTA販売を意識した個人旅行(主として関西・首都圏)
・目的・趣味に沿ったコンテンツ(アクティビティ等)の充実、コンテンツに応じたセグメントの細分化
・首都圏企業をターゲットとしたワーケーションプログラム
・麒麟のまち圏域の強みである「食文化」「自然体験」希望上位国をターゲットに設定
・主として関西圏に滞在する訪日リピーターの日帰り、ショートトリップ
・東京を主に起点としつつも、圏域内のみならず、山陰・瀬戸内海圏域の周遊を志向する訪日リピーター、航空会社・山陰インバウンド機構との連携に軸置き、マーケティングからコンテンツ開発、プロモーションと一体となる取組による誘客
・R2「麒麟のまち観光販売戦略」策定

観光関連事業者と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

・「麒麟のまち」共通ロゴ使用による地域の一体感醸成
・「情報交流サロン」開催による戦略共有
・「農泊」「日本遺産」などの戦略とDMO戦略の共有
・行政・経済団体・観光協会が実施する「鳥取市観光大学」のエリア拡大
・行政・観光協会と一体でOTA販売環境整備
・観光販売戦略に関する勉強会開催

KPI(実績・目標)

※()内は訪日外国人旅行者に関する数値

項目		2018	2019	2020	2021	2022	2023
		(H30) 年度	(R1) 年度	(R2) 年度	(R3) 年度	(R4) 年度	(R5) 年度
旅行消費額(円)	目標	30,000	31,500	33,000	33,300	33,600	34,000
	実績	(-)	(35,000)	(30,000)	(31,500)	(33,000)	(34,500)
延べ宿泊者数(人)	目標	265,800	271,000	159,000	280,000	310,000	320,000
	実績	(21,000)	(24,000)	(3,000)	(5,200)	(19,000)	(25,000)
来訪者満足度(%)	目標	70.0	75.0	75.0	77.0	78.0	80.0
	実績	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
リピーター率(%)	目標	75.0	80.0	80.0	82.0	83.0	85.0
	実績	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
		77.0	78.2	(-)	(-)	(-)	(-)

活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

【主な収入】 運営費(運営負担金、会費) 約33百万円(R2年度)
収益事業(旅行業、コンサルティング等) 約19百万円(R2年度)
受託事業収入(官民) 約33百万円(R2年度)

【総支出】 82百万円(一般管理費37百万円、事業費45百万円)※R2年度 第4期決算

【自立的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針】
観光事業者からの広告・協賛収入、WEBでの商品販売手数料収入、旅行業、商品企画料、観光コンサルタント業務などの収益事業の取組、基金による経営安定化